



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.338 . 1998 . 3 . 1



剣 山 (新見市)

目 次

林野火災の状況と対策	2	“樹”	6
多様化する普及指導事業	3	林研だより	7
シリーズ森林公園	4	お知らせ	8 ~ 9
普及指導最前線	5	林産物市況等	10

“ おかやまの 未来をひらく 農林漁業 ”

岡山県 農林漁業活力向上運動

林野火災の状況と対策

平成九年の山火事発生状況は、一月に二十餘回を焼失する山火事が発生しましたが、その後春季の多雨、夏期の台風による降雨などにより山火事の発生が抑えられ、平成八年に比べ、件数、焼失面積とも減少しました。

しかし、本年に入り南部地域を中心に乾燥注意報の発令される日が続き、二月に入り山火事が頻繁に発生しています。これから春先にかけては空気が乾燥し風の強い日も多く、山は非常に燃えやすい状態になっています。しかも、農作業のあぜ焼きなど野外で火を使う機会も多くなるなど、山火事の約五十割が二月から四月に集中して発生しており、十分な注意が必要です。

このため、県では、今年度も以下に掲げる様々な事業や山火事予防活動を実施しています。

森林保護巡視事業
保安林地域、多数の入山者が予想される地域及び林野火災多

発地域において、森林保護巡視員二五名による山火事に関する普及啓発及び災害の早期発見等の巡視活動を実施する。

林野火災予防対策事業
林野火災特別地域を対象として、防火管理協議会を開催するとともに、予防資機材の配備及び防火施設の整備を行い、林野火災の予防及び被害の軽減を図っている。

・九年度実施市町村
総社市、山手村、清音村、真備町
組立水槽 二基
AAAホース 二〇捲
山火事防止のぼり 七〇枚
水のう付手動ポンプ 五〇基
標板 二〇〇枚

森林災害予防啓発普及事業
林野火災多発期に、県南部を中心にセスナ機により空から、林内作業者や行楽等の入山者に対して山火事注意を呼びかける。

・実施機関
平成九年四、五、八月、十年

二、三月
飛行回数一七回

林野火災予防強化対策事業

林野火災多発危険地域において、林野火災の予防と拡大・延焼防止施設の整備を行い、大規模な林野火災の発生防止を図る。

・九年度実施市町村
玉野市、総社市

・施設整備
防火水槽 二基
防火標識 三基
山火事予防表示燈 一基

このほか、毎年三月一日から三十一日までを「山火事予防月間」と定め、ラジオ、電光掲示板、広報紙、ポスターの掲示、防火パレードの実施等啓発・巡視活動を強化して予防意識の高揚を図っております。

ところで、山火事を発生原因別にみても、ほとんどがあげ焼きやタバコの不始末などちょっとした不注意から発生しています。

やはり、山火事予防の一番大切なことは、県

民の一人一人が細心の注意を払うことです。

特に次のことに注意して、山火事を防ぎ、貴重な緑を守っていきましよう。

- 一 風の強いときや空気の乾燥しているときは、火を使わない。
- 二 枯れ草等の近くでは、たき火をしない。
- 三 たき火の跡は完全に消化する。
- 四 タバコの吸い殻を投げ捨てる。
- 五 子供に火遊びをさせない。
- 六 林野等へ火入れをするときは市町村長の許可を必ず受ける。

(治山課造林係)



多様化する普及指導事業

林業労働者の高齢化、中山間地域の過疎化、さらには住宅着工戸数の減少による木材価格の低迷により、林業はかつてないほどその危機が叫ばれている。

このような中で県では、普及指導事業を林業に直接携わっている人への技術指導のみならず、林業の枠を越え、広く「森林・林業」を一体としてとらえた普及事業を展開している。

それは、森林・林業を子ども頃から学ぶため森林・林業教室の開催や将来林業の担い手となる林業科高校生を対象とした高性能林業機械の実習、また林業に携わる女性の自立のための研修会等の人材育成であり、もう一つは、森林の良さ・大切さ、森林の持つ水源かん養などの公益的機能を広く県民一般に啓発することである。

一 青少年

(一) 小・中学校

森林の大切さを啓発するため、各地の小・中学校では森林・林業教室が開催され、県北部では木材の生産等、林業を主体に、県南



(二) 高校生

勝間田高等学校林業緑地科の二・三年生を対象に、将来の機械化林業に対応するための高性能林業機械の現地実習を行っている。また、林業関係企業との就業相談会を開催し、各業界の実状についての新たな認識を促している。

部では水源のかん養等の公益的機能に重点を置いてAgが普及指導している。



二 林業女性

林業に携わる女性を支援するため、県下流域毎に三カ年計画で「はつらつ林業女性活動促進事業」を実施することとし、本年度は高梁川流域を対象に行った。

女性林研五グループを対象に菌床しいたけ生産施設の視察研修、他地域の林業女性と意見交換会、また高梁川全流域の林業に携わる女性を対象に高梁市において女性の地位向上と意識改革のため研修会を行った。



この事業は来年度は、旭川流域で実施する予定である。

三 一般県民

森林の良さ・大切さを広く県民にPRするため平成五年度から始まった「美しい森づくり運動」は、各界・各層の理解を得て、県下に広く広がっている。

各地で植樹のつどい等のイ



ベントが行われ、勝利山美しい森で開催された植樹のつどいには、林業関係者はもちろんのこと市民団体・下流域の漁業関係者も多数ボランティアで参加した。

また、このボランティア運動については、倉敷市・玉野市等の山火事跡地において、「自分たちの手で山火事跡地を緑に」と地元町内会・地域のライオンズクラブ等による植樹が積極的に行われている。このように、林業を取りまく情勢が厳しい中で、県ではこの美しい森づくり運動を積極的に支援し、普及啓発に努めている。

これらの広範な普及事業を実施することにより、不振である林業を従来の山（木材の生産の場）・木（木材）の枠を越え、総合的に支えようとしている。

(林政課 林業専門技術員

渡邊直人)

シリーズ森林公園 6

剣山生活環境保全林

車道、歩道の開設
作業施設の整備

【現地までの行程】

現地へは、国道一八〇号線
明地トンネルの手前の保全林
への入り口から徒歩で四十五
分程度かかります。

【問い合わせ先】

阿新地方振興局森林課

〇八六七 七二 一一七七

新見市役所農林課

〇八六七 七二 六一三四

を望むことができます。

剣山は、新見市街地から二〇^{キロ}
餘り、鳥取県日南町に境を接
する独立峰であり、標高は九六
二^{メートル}、頂上からは三六〇度の眺
望が開け、北には遠く大山をは

剣山生活環境保全林は、平成
六年度から本年度までの四年間
にわたって、治山事業で保健休
養の場としての機能が高度に発
揮できるよう、阿新地方振興局
が森林の改良等を行い整備した
ものです。

このたび施設整備が完了しま
したので、その概要を紹介しま
す。

【施設の概要】

区域面積 八・八〇^{ヘクタール}
整備内容

自然林改良（ヤマザクラ、
ナナカマド、レンゲツツ
ジ、アセビ等の植栽）

植栽木の生長につれ、四季
折々の花が楽しめるようにな
り、ここを訪れる人には潤いを
もたらすことでしょう。

頂上付近には「あずまや」が
整備されており、眺望を楽しみ
に訪れる人には、格好のオアシ
スとなります。

なお、国道一八〇号線の保全
林への入り口には看板が設置さ
れております。

（阿新普及指導区Ag近藤和夫）



剣山頂上付近



千屋温泉を望む

普及指導最前線

「みんなで森づくり」

平成十年一月十八日に和気町木倉において、「植樹のつどい」と「マツタケ山施業」を開催しました。

当日は、この時期としては希に見るまとまった雨で、参加者の出足が鈍るのではないかと心配していましたが、悪天候にも関わらず約百三十人の参加者が手には鎌、鍬、熊手を持ち、そして合羽を着込み作業の開始を待ちかまえていました。

雨の中で簡単な開会式を行い、植栽地に移動し、笹の刈跡に五百本のドングリポット苗木（アラカシ、シラカシ、ウバメガシ等）を植栽しました。足場が悪いにも関わらず三十分程度で植え付けを完了しました。

最後に、今回の植栽地に隣接した昨年の植栽地の説明をして植樹のつどいを終りました。

次に、マツタケ発生環境整備を行いました。百三十人を二班

に分けて現場へ移動し、途中、この日のために地元の代表と局とで整備を行った標準地で、作業手順や注意事項を説明し、作業に取りかかりました。

一班の現地は、五百平方メートルの現地は、五百平方メートルで既にマツタケの発生が終っている「終わり山」ですが、周辺のマツが十五年から二十五年程度と若く、施業次第では発生が期待できる箇所です。一部ではシメジ、シヨウゲンジ等のキノコが発生しています。施業方法としては、マツタケ発生の期待できる山頂付近では、整理伐と地表掻きを行い、野生キノコの発生箇所は整理伐のみを実施し、現在の発生環境を崩さないように指導しました。

二班は、一千平方メートルの今年もマツタケが発生した箇所、施業中もシロが出てくるのではないかと期待していましたが確認できませんでした。施業は山頂

付近を中心に整理伐と地表掻きを行いました。

当日は、林業試験場の大森専技にも指導にあたっていたいただきましたが、目に付いた点としては、地表掻きの時にどうしても腐葉層中の白い雑菌のところをマツタケのシロと勘違いして残す雑菌のところをマツタケのシロと勘違いして残す傾向があったことです。また、よく質問されたのは、「こうした施業をしたら、いつ頃生えますか」ということで、これについては、「シイタケやヒラタケのような栽培が可能なものとは違って、



植樹のつどい



マツタケ山施業

マツタケは発生のメカニズムが解明されていない部分があり、間違いないか生えるというものでなく、生えやすい環境を作って、発生の手助けをすることが重要です。」と説明しました。

私も、マツタケが口に入らなくなつて幾久しいような気がしますが、今回参加された人たちの中にも、あきらめつつもマツタケの発生を期待し夢見る方が大勢おられました。林業を取りまく暗いニュースの多い時代に少しでも夢を見るのも楽しいもののように思いました。

(東備普及指導区 Ag 檜尾彰久)

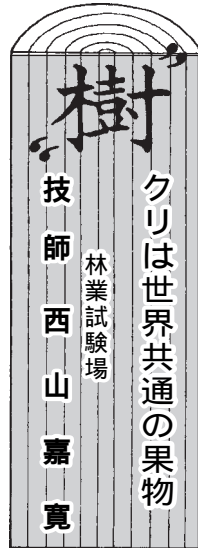
木枯らしが吹き始めますと、焼栗の、どこか焼き芋に似たホクホクとした味を連想するのは私だけでしょうか。

クリの実について、古くは本草和名(九一八年)に「栗」の記載がありますし、縄文時代の三内丸山遺跡(青森)からも栗が多く見つかっています。また、「丹波グリ」という言葉をよく聞きますが、これは、丹波地方で古くから良質で大果のクリが生産・栽培されてきた歴史があり、この名が現在に脈々と残っているのです。

クリは私たちの食生活に深く結びついた食物なのです。

そもそも栗の原生分布をみますと、世界に一三種あるそうですが、私たちが一般に目にできる「クリ」は、和菓子の中に入った大粒のもの(ニホングリ)、やや小粒の焼きグリ(チユウゴクグリ)、マロングラッセ(ヨーロツパグリ)の三種類くらいではないでしょうか。

ニホングリといっても、古くから品種の改良が進められ、今や一〇種以上、北は東北から南は九州まで広く栽培されています。最もポピュラーな品種は、「丹沢」「筑波」「銀寄」等



す。ニホングリの特徴は実が大きく、加工に適していること等から、和菓子の材料によく利用されています。特に国産の「銀寄」を使った和菓子は最高とされています。昨今は半加工品が韓国、中国から日本に大量に輸入されており、これらの使用が大半を占めているのが現状ですが、一方では長野県小布施のように地元のクリを観光の目玉にして、年間一〇〇万人の観光客を集めていることは、何かホッと救われた気持ちになります。

チユウゴクグリは中国大陸の東北南部から華南までに広く分布しています。クリの大きさは南進すればするほど大きくなりますが、私たちがよく口にします焼グリは、主に華北地区産の小粒なクリです。古くから天津はこの地域のクリ集積地であったことから、今日でも「天津」の名前はチユウゴクグリの代名詞として使われているのです。このクリの最大の特徴は渋皮が簡単に取れることです。ニホングリ全体の消費量が頭打ちの中

で、焼グリの消費量が毎年堅調に推移している最大の原因はここにありませう。これ以外にも甘みがニホングリより強いこと、温かい状態で賞味できること等が挙げられます。クリの需要は気温が低下するとともに上昇することは古くからよく言われていることです。ただし、焼グリの甘みはクリ本来の甘みもさることながら、クリを焼く過程で、小石とともに八チミツ等の糖分を加えたりと工夫されていることもお忘れなく……。

ヨーロツパグリは、パリ土産の「マロングラッセ」に代表されるように、大粒のものが最良とされています。イタリアでは主に栽培・収穫から「マロングラッセ」になる前処理までが行われています。前処理は、岩をくりぬいた洞窟が利用されており、表皮や渋皮の剥皮、熟成等が行われています。暗い洞窟で、身支度を整えたクリは「フランスに運ばれ、「マロングラッセ」に変わるので。

最後に国内外に旅行するチャンスがあれば、クリのことをそつと思いついてほしいと思います。かく言う私も、小布施のクリ板賣、神戸で出会った「銀寄」で作られた高価なマロングラッセを連想する一人です。

林研だより

「備中ヒノキの産地化をめざして」

備中町の林業を振興する会

会長 村上 彰



備中町は、岡山県の中西部に位置し、林野率が七八%を占め、そのうち人工林が民有林面積の二九%にあたる約二、三〇〇畝、天然林のアカマツが一四%の約一、〇五七畝、コナラ等の広葉樹が五六%の約四、三五一畝あります。

備中町の林業を振興する会は、備中町内全区域を対象とした会で、平成二年八月有志により北山を見に行こうということからはじまりました。備中町の森林を有効に利用し、地域振興に努めるとともに人工林の徹底した保育を行い経済的価値を高める必要があるとの認識を持ち、会員相互の親睦を図り、林業の経営や生産技術の研鑽に努め、地域林業の振興と経済的安

定を図ることを目的に結成されました。会員数も各地区でも選りすぐりの森林所有者ばかりからなり、結成当時の四〇名から現在では五一名となっており、当初の目的別意識を持ち続けて先進林業地の視察研修等今もなお積極的な活動に取り組んでいますので紹介します。

森林は、木材生産のほか、水源のかん養機能をはじめ環境を保全するなど多様な機能を有しておりますが、備中町内の森林・林業に対する関心は森林所有者の高齢化、後継者不足もあり薄れてきており、本来の山の姿、造林、保育、優良材の生産、雑木林の有効利用等の推進が急務となっていました。これらの山を守り育て、子孫へ貴重な財産として残すための研究、啓発の一環として、先進林業地視察研修をはじめ、集材工場の視察

研修を行い、生産から加工利用までの検討を行い、グループ活動の活性化を図っています。

設立当初からの主要課題でもある、優良材の生産技術については、林業施業研修会として、各地区を輪番で間伐・枝打ち技術講習会を毎年実施しています。岡山

県森林組合連合会主催の民有林優良材展示コンクールに出品を行い、木材市場の視察研修を行うなど自己研鑽に努め、高梁地区の優良材生産技術共進会への出品も積極的に参加しています。

また、保育作業を会員同士で実施するなど、意見交換や情報収集に努め、技術の向上を図つ

ています。

美しい森づくり運動では当グループの会長が備中町美しい森づくりの会の会長をつとめるなど組織の中心となり、植樹のつどい等の積極的な参加・指導を行っています。

また、平成七年度には岡山県活力向上運動高梁地域推進協議会から、山林の保全と育成を図るため、調査研究を行い知識の習得及び技術の向上を図り林業の振興を図つたとして表彰を受けています。

後継者不足に高齢化した当地域で現在行えるのは、植えていくスギ、ヒノキの手入れを行い、陽が当たる山にしたい、自分の代ではどうにもならないので大径木として子孫に残したいと、間伐等森林施業に意欲的に取り組んでいます。

会としての年数はまだ短いですが、会長をはじめ会員が協力し意欲的に活動されており、今後の備中ヒノキの産地化の中心のグループとしての活躍が期待されます。

(高梁普及指導区Ag安東與四正)



お知らせ

岡山県林業試験場が生まれ変わります

林業試験場は、平成三年度から県民のみなさんに親しんでもらう開かれた試験場を目指して、様々な施設整備を進めています。試験研究や研修だけでなく、気軽に森林浴も楽しめる施設として生まれ変わります。なお、完成予定は平成十年三月末です。今回は、その主な施設を紹介いたします。

岡山の森 郷土樹木園
 県内の自生する一六一種の樹木をカエデの森やクスノキの森など九ゾーンに分けて植栽しています。岡山の郷土樹木が学習できるように、樹木には名札を設置しています。さらに、休憩場所として、芝生広場も整備しています。

竹林展示園
 モウソウチクやシホウチクなど国内外の代表的な三十種の竹を植えています。竹の生態が観察できる県内でも珍しい展示園となっております。

山菜・薬草木園
 山菜はワラビやウドなど三十種、薬草木はゲンノシヨウコやメグスリノキなど四十種を植えています。いずれも県下の山地に自生するものを厳選しています。

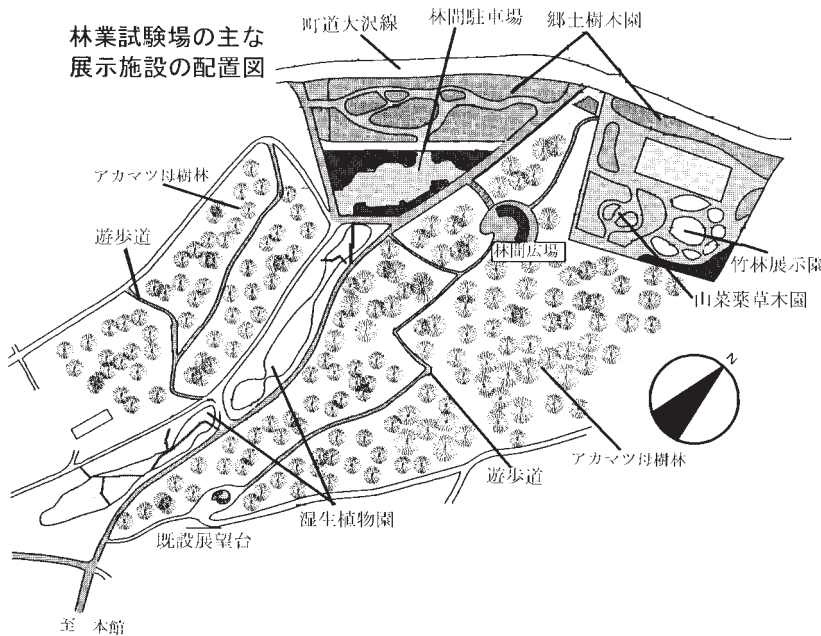
湿生植物園
 アヤメやカキツバタなどを中心とした湿生植物園で、春には様々な色をした花が楽しめます。また、園内には木道を設置しています。

森の館
 林業関係の研修を行う施設です。屋根はスギ皮葺きで、内装はブナのフローリングなど木材をふんだんに使用した造りで、最大八十八名までの研修が可能です。高台に建っていますのでデッキからの眺望は格別です。

その他
 林間駐車場、さらにアカマツ林内には遊歩道約七百五十メートルやバーゴラなどが整備されています。試験研究施設としては、バイオテクノロジーを扱う研究棟などがあります。また、場内には

は五百三種類の樹木が植えられており、四季折々の変化が楽しめます。最後に、来年度からは場内で自然観察会なども計画していますので、お気軽に参加してください。さるようお願いします。

林業試験場の主な展示施設の配置図



担い手育成財団からのお知らせ

岡山県農林漁業担い手育成財団では、次の制度を整備し林業の振興にも寄与しています。

一 就業奨学金制度

将来県内で自家の農林漁業に専業として従事しようとする高等学校の生徒に対し、就業奨学金を貸与しています。

・貸与月額 一万円

・貸与期間

貸与を決定した年度から奨学生が在学する高等学校の正規の修業期間を終了する月まで

・償還猶予

進学や先進農林漁家での研修中及び農林漁業への就業期間が三カ年に達するまで返還免除

高等学校を卒業後六カ月以内に県内で自家の農林漁業に専業として従事し、その後引き続き従事した期間が三カ年と達したとき

二 結婚推進員制度

農林漁業青年が安心して経営に精進できる明るい希望に満ちた幸福な家庭を築き上げること

ができる

よう、結

婚適齢者

に対して

ふさわし

い伴侶を

仲介する

県下四〇

〇名の結

婚推進員の活動に対し助成を行っています。

三 社会科副読本の作成

次代を担う小学生を対象とした本県の農林漁業について正しい理解と認識を深めるための社会科副読本及び教師用指導資料の作成に助成してまいります。



問い合わせ先

岡山県農林部新農業推進室内
岡山県農林漁業担い手育成財団
電話〇八六(二二四)二一一



林産物市況

製材 (2月上旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)
6.0	一等	25 - 28	6.0	一等	35 - 40	10.5	特等	85 - 90
7.5	一等	20 - 22	7.5	一等	30 - 33	12.0	特等	95 - 100
9.0	上一	18 - 20	9.0	上一	18 - 20	"	上小	110 - 130
"	一等	20 - 22	"	一等	25 - 28	13.5	特等	75 - 80
10.5	一等	30 - 40	10.5	一等	60 - 65	"	上小	95 - 110
"	特等	35 - 45	"	特等	65 - 70	ラ ス 板		
"	上小	60 - 70	"	上小	120 - 160	2 ^m 1.2× 9.0		18 - 20
"	無節	80 - 100	"	無節	200 - 230	3 ^m 1.2× 9.0		18 - 20
12.0	特等	33 - 40	12.0	特等	65 - 70	2 ^m 1.5× 10.5		23 - 25
"	上小	55 - 60	"	上小	120 - 150	2 ^m 0.9× 24.0		60 - 65
"	無節	70 - 80	"	無節	200 - 230	2 ^m 1.5× 21.0		35 - 40
長 サ 4m			長 サ 4m			造 作 材		
6.0	一等	28 - 30	6.0	一等	45 - 50	杉 4 ^m 3.0× 3.0	無節	(本) 6 - 8
9.0	上一	20 - 23	9.0	上一	27 - 30	杉 4 ^m 4.0× 4.5	無節	(本) 12 - 20
"	一等	28 - 30	"	一等	45 - 50	杉 4 ^m 4.5× 10.5	無節	230 - 280
10.5	特等	40 - 45	10.5	特等	75 - 80	桧 4 ^m 4.5× 10.5	上小	200 - 220
12.0	特等	40 - 42	12.0	特等	65 - 70	桧 4 ^m 4.5× 10.5	無節	280 - 330

木材 (2月上旬)

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 10	13	17	-
	11 - 13	16	28	-
	14 - 16	22	34	-
	18上	21	32	12
4m	7 - 10	17	22	-
	11 - 13	17	22	-
	14 - 16	-	36	-
	18上	16	28	15
6m	14 - 16	-	56	-
	18 - 20	-	46	-

乾しいたけ (月旬)

名柄別	価格 kg当り (百円)	
	安 値	高 値
香 信 大 葉		
" 中 葉		
" 小 葉		
バ レ 大 葉		
" 中 葉		
ス ラ イ ス		
香 茹		
上 冬 茹		
並 "		
並 並 "		
小 玉 "		
格 外 品		

編集後記

日一日と春が近づいてきて、
 対策が、今月号で紹介して、
 対策とおり、今紹介する時期は、
 火災の一番発生しやすい状況で、
 になり、
 これから、気候も穏やかにな
 り、森公園等にお出かけにな
 る機会も多くなると思いますが、
 が、火の取り扱いには十分注
 意しましょう。
 今年度の「林声」の発行は、
 今月が最後です。たくさんあ
 りがとうございました。
 次回、五月発行予定です。
 (A)